

株式会社 Nuts に新機能

弊社は、新しい会社機能を増設いたしました。

それは人の持つ「生きる力」「守る力」「戦う力」支援であり、健やかな生活への応援であります。会員制の近未来的な健康管理・医療管理プログラムを始動、そして、皆様の生きる力をフォローアップするために医療と親和性の高い健康食品を商品化すべく、港区に AIPL 社 (Adjuvant・Immunity Probes Laboratory, Inc.:アジュバント・免疫 探査研究所) を設立いたしました。

アジュバントとは皆様が生まれ持っている抵抗力【自然免疫】と今まで生きる中で培ってきた感染防御力【獲得免疫】を結び付ける物質や方法です。それは誕生時に初めて飲む母親の初乳、母乳であり受動免疫とも言われる。わが子の健康を祈り、感染症から赤ん坊を守る母の思い、願いは母乳 (アジュバント効果) を介し新生児を 100 日間、外部の全ての感染から身を守ります。赤ん坊は母親の産道から新生児用のやさしい乳酸菌、ビフィズス菌を与えられ、そのアジュバント効果により 100 日間かけて自らの腸内の環境を整えていきます。またアジュバントとは予防医療 (予防医学) において、ほとんどすべてのヒト不活化ワクチンに不可欠な添加物であり、IT 業界では Cross-talk と呼ばれる情報伝達を意味します。

現代は、遺伝子 (ゲノム編集、ポイント抗がん剤) や再生医学 (iPS 細胞) などのバイオ最先端技術による医薬・医療が注目されていますが、本来ヒトの持っている力を調整し、医薬品、抗菌剤や抗がん剤に代わる予防・医療物質や食品等の安全性、エビデンスを可能な限り追求し商品化いたします。体を守る力、戦う力にて皆様の生活の質【QOL:Quality of Life】を高めることに努めてまいります。

〔製品説明〕

研究開発は終了、非医薬品であり国内製造 (準 GMP 製造)、すでに安全性テスト (確認) や加速試験を行っています。また室温保存 3 年間を目標とし無菌、凍結乾燥またはクリーム状であり一部に乳酸菌、ビタミン、金属添加、を最良の組み合わせで国内外に流通予定。

商品① iCU (仮称): アミノ酸組成物 BCAA+

商品② iCI (仮称): 核酸組成物 二重鎖 RNA+

商品③ iCI デヴァイス (仮称): 使い捨て経鼻・経皮アジュバントの専用デヴァイス
(医療容器)

商品① iCU (仮称)

自然免疫【Innate Immunity】提唱者の一人であり、世界で初めて脊椎動物の抗菌ペプチドの発見者であるジョージタウン大学のザスロフ博士は、世界で初めて生体内で抗菌ペプチド (デフェンシン) が一部食品により誘導されることを発見いたしました。さらに徳洲

会病院の蘆田博士らによりそれには別の成分が必要であることが加えられ、炎症性腸疾患に応用されました。患者腸内で乳酸菌が正常に増殖する事、下痢便秘が改善したことが報告されました。その後、断食における腸のダメージや飢餓におけるさまざまなダメージが軽減されることなどが示唆されました。

京都大学の谷口博士【病院長】らは、食事と併用すると高年齢寝たきり患者の慢性尿路感染、日和見感染などが改善されることを報告。感染実験動物モデルではインフルエンザ感染予防、類 SARS【マウスコロナウイルス】感染予防にもアジュバント効果を示しました。ただし、臨床では軽い体重減少や筋肉増強などの副作用が知られています。また驚いたことに高濃度投与ではあるが、動物実験においてプリオンの増幅を抑え感染での延命率が増加しました。

健康の定義：日常生活の中で快食・快眠・快便、また医学的には感染症でない事、アレルギーが無いこと、心安らかであること。つまり *i*CU(仮称)は QOL に有用だと考えられます。

商品② *i*CI (仮称)

本来はヒトインターフェロン-β 製剤の製造に関わる化学物質。

イノシン酸 (カツオ節のうまみ成分) などのポリマーを二重らせん状にしたものでヒトおよび動物細胞を抗ウイルス状態にします。40年以上前から製造に利用され、ワクチンでのアジュバント効果は20年前に国立感染症研究所【感染病理】で見出されました。

大気中で分解しやすく、食べる、噴霧しても薬理作用は認められませんが、静注などの場合、インターフェロンと同じような副作用【発熱、倦怠感】が見られる場合があります。海外では点滴静注で CFS【慢性疲労症候群】の治験が行われたが認可されませんでした。

また台湾では小児喘息の治験が行われました。弊社では特別な形状【DDS】でワクチンに添加できるものを製造いたします。

ワクチンは国家管理、製造法は国家秘密かつ備蓄はバイオテロ対策でもあります。また健康人に投与するため製品の国家検定が必要であり、弊社はワクチン製造には全く関与していません。そのため *i*CI (仮称)は国内、一般ヒト用には市販いたしません。

ただし、国内外で一部研究開発、臨床治験は行います。

また経済動物ワクチン用アジュバントはブタ (農水省管轄) が準備中で投与後に屠殺しない、安全性の高いアジュバントワクチンを開発しました。

詳細は近日、ご報告いたします。海外用 *i*CI (仮称)は5種類用意しています。

例えばその中にはメラニン沈着や皺の解除など美容整形にも応用可能なものがあります。

商品③ *i*CI デヴァイス (仮称)

インフルエンザはほとんど鼻から感染するため鼻にウイルス感染効果を持たせることで感染を防ぎます。針を使わずに少量でもワクチン効果が期待できるため、小児・高齢者に

も適用しやすい、経鼻・経皮アジュバントの使い捨て専用デバイス（医療容器）。

〔担当〕

社長：森田浩章（株式会社 Nuts 代表取締役）

研究所長、取締役：森山雅美 博士(医学) PhD.

感染・免疫・アレルギー

医薬・医療経歴 所属・研究場所

1) 免疫学一般、免疫抑制・抗アレルギー

慶應義塾大学医学部（微生物学・免疫学）元准教授

2) 知的財産（医薬・医療）担当

日本大学法学部大学院（知的財産）元客員教授

3) 炎症性腸疾患（IBD 等）、腸移植用免疫抑制剤【冬虫夏草】担当

米国ハーバード大学 MGH-GIU: マサチューセッツ総合病院（胃・大腸領域）元主席研究員

【J-1 招聘留学1年間】

※画像 A（40代の写真）

4) 経鼻アジュバントインフルエンザワクチン開発【海外】

国立感染症研究所（感染病理）元客員研究員 厚労省管轄

5) 経鼻・粘膜アジュバント

東京大学医科学研究所（免疫・アレルギー）元客員研究員

6) AIDS、パピローマ、肝臓ウイルス感染症領域

HIV, HPV, HCV, HBV, HHV 感染治療薬開発 グラント HS 財団等

7) 粘膜アジュバントワクチン関係の海外開発（インフルエンザ、
韓国出血熱、SARS、がん）

シンガポール、インドネシア、中国、韓国、ロシア、台湾、UAE、

フィリピン、タイ、ベトナム他

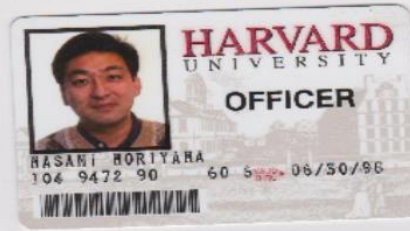
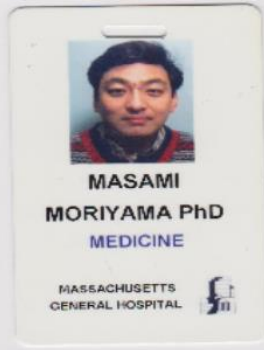
8) 使い捨て経鼻デバイス、DDS（ドラッグデリバリーシステム）

9) 経済動物（ブタ、ニワトリ、ウシ、魚類等）の感染症ワクチン開発 農水省管轄

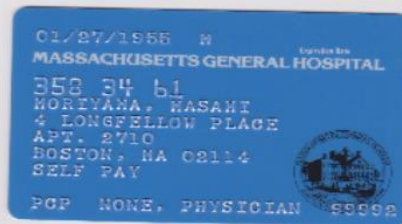
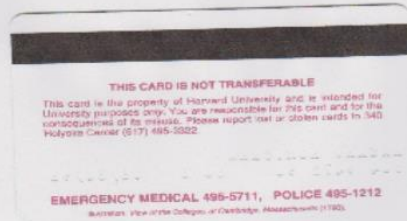
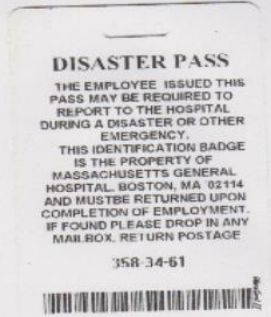
日本、ドイツ、フランス、モンゴル他

※平成20年頃、一部新聞、週刊誌などで森山氏に対する報道がありましたが、以下のよう
に、案件自体は取り下げられ裁判自体がそもそも存在しません。示談和解ではありません。
ん。

※画像 B



MGHPass Harvard Pass事務官



MGH 健康保険書



Visa Type/Class R J1

Issue date 03OCT1997 Expiry date 12OCT1998

副 本

平成20年(ワ)第13087号 損害賠償等請求事件

原 告 増永基文 外6名

被 告 森山雅美 外3名

取 下 書 (一部)

平成21年7月1日

東京地方裁判所民事第35部A3係 御中

原告ら訴訟代理人	弁護士	千	葉	肇
同	弁護士	飯	田	修
同	弁護士	紀	藤	正 樹
同	弁護士	田	中	博 文
同	弁護士	田	中	博 尊
同	弁護士	和	田	聖 仁



原告らは、都合により、被告森山雅美に対する訴えを取り下げます。

以 上